



まき ほんよう
榎の本葉

上牧第三小学校 学校だより

2022(令和4)年
12月16日(金) No.08
発行責任者 大河内 渡



今年もありがとうございました

2022(令和4)年も、残すところあとわずかとなりました。今年も何とか無事に終えることができそうです。これもひとえに、保護者や地域の方々、そして学校を陰日向からサポートして下さるの方々など、みなさまのおかげです。本当にありがとうございます。

コロナ禍も3年目となった今年は、これまで中止や縮小を余儀なくされていたものが、少しずつコロナ前に戻りつつあります。これまでの2年間の取組を参考にしながら、コロナ以前の取組も取り入れるということで、新たなものを創造したり、工夫したりしながらの日々でした。

私自身、校長一年生ということもあって、子どもたちにとってより良い学校となっているのか？自分の掲げた「温故知新」はできているのか？と反省の毎日です。若かりし頃、地域の方から「医者と教師はひねた方がいい」と言われたことがあります。その年代だからこそできるということもありますが、様々な経験を重ねていくことの大切さを教えていただいたと思っています。ですから、反省を踏まえたこの経験を糧として、これからも子どもたちのために取り組んでまいります。

どうか来年も、本年同様、みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。みなさまにとって来年も、幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

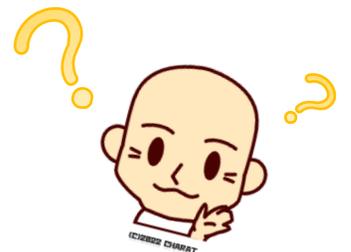
今年は、おかげさまでたくさんのことができました



「ありがとう」の反対は？

みなさんに質問です！

「ありがとう」の反対語(対義語)は、何でしょうか？



「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」となります。元は、「有り難し」(ありがたし)です。

「それが有る(起こる)ことは、とても難しい(滅多にない)」ということです。

そして、滅多にないような幸福なことをしていただいたという意味で「有り難き幸せ」という感謝を表す言葉があり、それが短縮されて「ありがとう」となったそうです。

「こんにちは」も、「今日(こんにち)は、いい日よりですね」「今日(こんにち)は、ご機嫌いかがですか」という挨拶の言葉が短縮されたそうですし、よく似ていますね。

さて、話を戻しますが、「ありがとう」の反対語(対義語)は、珍しくないということで「当たり前(当然)」となります。

日々助けていただいていることに慣れてしまい「当たり前(当然)」とならないよう、「ありがとう」の気持ちを常に忘れずにいたいと思います。